

令和3年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立新東淀	中学校	生徒数	中学2年生（男：119名 女：108名）
---------	-----	-----	----------------------

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール 投げ	体力合計点
男子	30.22	22.59	39.89	49.50	-	71.79	8.05	193.64	21.55	38.53
大阪市	28.90	26.27	42.12	51.88	416.03	78.32	8.08	195.40	20.03	40.71
全国	28.80	25.99	43.67	51.19	406.38	79.88	8.01	196.36	20.31	41.18
女子	23.99	24.35	43.18	47.64	-	54.97	8.95	167.25	14.77	50.09
大阪市	23.42	22.44	44.71	46.94	306.26	53.61	9.01	167.76	12.62	48.06
全国	23.43	22.32	46.20	46.25	297.62	54.24	8.88	168.15	12.72	48.56

結果の概要

男子の体力合計点は、全国・大阪市平均を大きく下回る結果となった。特に20mシャトルランの結果が伸びず、全身持久力に課題が見られる。授業の中で、持久力を上げる運動を少しずつ取り入れ課題を解決していくことが必要である。また、男女ともに長座体前屈が全国・大阪市平均を下回っている。毎授業の準備運動で「ストレッチ運動」を取り入れているが結果に繋がっていない。準備運動のやり方を再考し、結果に繋がる方法を考えていかないといけない。女子の体力合計点は、今年度全国・大阪市平均を上回る良い結果となった。上回っていない種目をもう少し伸ばしていくように授業を工夫していく必要がある。男子では「運動が好き」と答える生徒が85%を越えているが、1週間の総運動時間が60分未満という生徒も20%近くいる。運動に対する2極化をどう授業で解決していくかが結果に繋がってくることだと考える。女子では「運動が好き」と答える生徒が80%以下、1週間の総運動時間が60分未満という生徒は20%を越える。自ら進んで運動しない子どもたちに、限られた授業の中で少しでも運動の楽しさを伝えられるかが大切だ。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

毎授業の準備運動で「ストレッチ運動」を取り入れているが結果に繋がっていないことを考えると、実施方法を考え直さなくてはいけない。コロナ禍で活動が制限される以前は、2人1組になりストレッチ運動を行い、背中を押してあげたり声掛けをしながら行っていた。その際は繰り返すうちに柔軟性がついているのが見て取れた。しかし、今年度は各々でストレッチ運動を行っている。1人だとやはり結果に繋がるような活動が出来ていないと考えられるので、結果に繋がる方法を改めて考えていくたい。本校では、1月にマラソン大会を行っている。その時期になると男女ともに持久力が上がっていくが、継続できていないことが課題である。年間を通して持久力を上げることが出来る準備運動を取り入れていきたい。「運動が好きではない」という生徒も、体育の授業に積極的に取り組むことが出来る授業を構築し、少しでも運動の楽しさを伝えることが出来ればと思う。